

「サーカス」

中原中也

幾時代かがありまして

茶色い戦争ありました

幾時代かがありまして

冬は疾風しつぷうふきました

幾時代かがありまして

今夜此処ここでの一ひと股盛さかり

今夜此処ここでの一ひと股盛さかり

サーカス小屋は高い梁はり

そこに一つのブランコだ

見えるともないブランコだ

頭倒さかさに手を垂れて

汚れ木綿の屋蓋やねのもと

ゆあーん ゆよーん ゆやゆよん

その近くの白い灯が

安値やすいリボンと息を吐き

観客様はみな鰯いわし

咽喉のんどが鳴ります牡蠣殻かきがらと

ゆあーん ゆよーん ゆやゆよん

屋外やぐわいは真ツ闇くら 闇くらの闇くら

夜は劫々こふこふと更ふけまする

落下傘奴らくかがさめのノスタルヂアと

ゆあーん ゆよーん ゆやゆよん